



地球は、時に牙をむく。 大切な人のために——。備える夏

令和元年度台風 19 号では総雨量 604.5 ミリを記録し、災害救助法が適用されるほどの広範な被害が発生した。令和 4 年度の集中豪雨では全壊家屋が 7 棟確認され、浸水被害も多数にのぼった。災害は忘れたころにやってくる。だからこそ一人ひとりの「備え」が何よりも大切だ。身近なところから災害対策に取り組む姿勢が、自分の命そして家族の命を守る第一歩となる。

災害から見る ときがわ町の地域特性

令和 2 年度の都市計画基礎調査によると、土地利用面積のうち「山林」が 70.3% を占めています。西部の大半が森林を占める山間地域であるため、土砂災害の危険性が高い地区が多数点在しており、大雨や大規模地震の際には土砂災害や孤立集落の発生が懸念されます。また、ときがわ町の 65 歳以上の高齢者の割合は 38.8% と非常に高く、災害時に支援を必要とする方が多くなっています。しかし、日中は町外で就労や就学している町民が多く、地域内における支援体制の確保が課題となっています。災害はいつ起こるか分かりません。日頃から防災意識を高め、いざというときに備えましょう。

ハザードマップで住んでいる場所の危険個所を確認！

令和 7 年 3 月にハザードマップの改定を行い、全戸配布を行いました。ハザードマップは、土砂災害・風水害・地震等の自然災害のリスクを示した地図です。住民一人ひとりが自らの居住地にどのような危険があるのか事前に知っておくことで、災害時の適切な行動につなげることができます。また、家族でハザードマップを見ながら避難場所の確認や連絡手段を話し合っておくことで、災害時でも冷静な判断と行動が可能となります。特に夜間や雨天時の避難を想定しておくことも大切です。命を守る第一歩として、今一度ハザードマップを手に取り、身の回りの災害リスクを把握しましょう。

ハザードマップは上記 2 次元コードからも確認できます。

写真説明

- 1_ 町道 2-35 号線 (令和元年度台風 19 号) 2_ 災害派遣で大附中央会館に訪れた自衛隊 (同左)
3_ 番匠地内土砂災害 (令和 4 年度集中豪雨) 4_ 文化センター西側河川 (同左) 5_ 土砂により押し出された家屋 (同左)

5 段階の警戒レベル

避難情報など (警戒レベル)			河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報	防災気象情報 (警戒レベル相当情報)	土砂災害の警戒情報 (雨)
5 災害発生 または切迫	命の危険 直ちに 安全確保！	緊急安全 確保	5 相当 氾濫発生 情報	大雨 特別警報 (土砂災害)
~~~~~ 警戒レベル 4 までに必ず避難！ ~~~~~				
4 災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4 相当 氾濫危険 情報	土砂災害 警戒情報
3 災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等 避難	3 相当 氾濫警戒 情報 洪水警報	大雨警報
2 気象状況 悪化	自らの避難 行動を確認	—	2 相当 氾濫注意 情報	大雨注意報 洪水注意報
1 今後気象状況 悪化のおそれ	災害への 心構えを 高める	—	1 相当 —	早期注意 情報



ときがわ町ハザードマップより

## 備蓄品 家に備えておくもの

食料や飲料水 (最低 3 日分) × 家族分

□ **食料**  
ご飯 (アルファ米など)、ビスケット、乾パンなど

□ **飲料水**  
3 日分 (1 人 1 日 3 リットルが目安)

□ **生活用品**  
ティッシュ、トイレットペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロ、ラップ、ごみ袋、ポリタンク、携帯用トイレなど

## 防災情報等メール配信サービス

町では、防災情報などの伝達手段として、携帯電話やパソコンへの電子メールによる情報配信サービスを行っています。このサービスを受信するには事前の登録が必要です。防災情報などをいち早く入手するために是非ご利用ください。

問 総務課 ☎ 65-0401